

「ひまわりのたね」だより



梅野よしみ 保育士

【問合せ先】子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081

■ たのしく食べたいな

日ごとに秋の深まりを感じるようになりました。

9月の終わりごろから、来年度の入園先をどこにしようかとの話が、お母さんたちの会話や相談でできるようになりました。その中でもお弁当か給食か、給食の回数は？等もかなりの割合を占めています。

◇ 食については、子育ての中で大切なことだとお母さんたちも十分わかっていきます。だからこそ、子どもの食が細いと悩みも多いようで、給食の方がいろいろな食材をバランスよく摂れるのではないかと。みんなと一緒に食べるのではないかと等。

◇ 保育所では、「あと少しよ！がんばって！」「食べないと大きくならいよ」等の声かけをして、空になったお皿を見せ「がんばったね」と褒めたり苦手なものもが少しでも食べられるような配慮を心がけています。しかし先日、もう大人になった卒

園児から、「保育所の頃給食で苦手なものが出たら、帰るまで口の中に入れていた。」という話を聞きました。なんとそんな子どもがいたなんて、当時のその子の気持ちを思うと心が痛みます。

食事が苦痛になることだけは避けたいと思うのですが、なかなか難しいものです。

今は、お母さんたちに「諦めないで食事を作り、いろいろな方法で進めていきましょう。」と伝えたいです。



【写真上】「でんしゃにのって」ごっこ

遊び 【写真下】親子で楽しくパン作り

子育て支援センター
「ひまわりのたね」

【開館】月～金曜日 9～16時

【場所】総合福祉センター
「ひまわりの里」内【対象】0歳から未就学の子
もとその保護者
※利用には保護者の付き添い
が必要です

【利用料】無料